

平成31年3月1日

幼稚園園長・施設長各位

「いのちの授業」紙芝居 観覧のご案内について

まやーまー会

代表 山城 美樹子

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

まやーまー会は、「殺処分になるために生まれてくる不幸な命を増やさない」という趣旨のもと、名護市内でTNRのお手伝い、さくら猫（TNRを実施した猫）の見守り活動、及び「命の授業」を通して殺処分ゼロの普及活動を行い、人と動物が共存できる社会の実現を目指し活動している団体です。

この度3月9日、10日に開催される名護市福祉まつりにおいて、当会のテナントを出店することになりました。県内の諸団体に協力していただき、パネル展・里親会・募金活動等を実施します。また、活動の一環として3月9日午後3時45分よりステージにて県内で殺処分ゼロの普及活動をしている「やなえもん」による「いのちの授業」と題した紙芝居を行います。身近な存在である生き物の命の大切さについてわかりやすい絵とことばで幼児のみなさんにも興味をもって見ていただける内容となっています。

沖縄県は犬猫の殺処分頭数が毎年全国ワースト上位に入っています。これをただペットの殺処分が多いというだけの話で終わらせるべきではありません。その背景には他者の気持ちを思いやる力や、自らの行いがどういった結果を招くのかという想像力の欠如があるように思えてなりません。平成21年の那覇市漫湖公園での猫大量虐殺を始めとして県内での犬猫のいじめや虐待は依然として珍しいことではありません。以前から若者の凶悪犯罪と動物虐待の関係は多くの事件で指摘されており、神戸連続児童殺害事件の酒鬼薔薇聖斗、女児連続殺害事件の宮崎勤、佐世保女子高生殺害事件、付属池田小学校無差別殺傷事件の犯人に共通して動物虐待の経歴があります。米国で収監されている10代の少年の50%に動物虐待の経験があったとの調査報告がありました。また動物虐待の経験がある子供が将来対人暴力を起こす可能性は一般の子供と比べ5倍との調査もあるそうです。

貴園におかれましては、ぜひ今般のステージをご覧いただき、今後、命の授業普及活動を情操教育の一助として取り入れていただきたく、ご提案させていただきます。生き物の命を大切にするということは、人の命を大切にするということにつながります。将来を担う沖縄の子供たちが心優しく思いやり深い人に育っていくことを切に願い、ご案内させていただきます。

やなえもんプロフィール

- ・ラジオパーソナリティ・インターネットMC
- ・本島中部を中心にイベント司会等で活躍する一方で、沖縄県における犬猫の殺処分の現状を知り、沖縄の将来を担う子供たちに命の大切さを訴えていくことの必要性を感じる。平成29年からは「動物の殺処分〇」を目指し、「やなえもんの『いのちの授業』」と題して主にうるま市内の幼稚園、学童クラブ、各種団体にて講和活動を開催中。紙芝居を通して楽しくお話をすすめながら、人も猫もどちらも同じかけがえのない命をもって生きていることを、伝えていく。